

歴史・文化セミナーのご案内



2022年11月～2023年1月

※セミナーのお申込みの受付は、10月1日(土)から開始します。

11/5
(土)

あに おと ふみもち 兄・弟の情愛 一大伴家持・書持の場合

天平18年(西暦746年)の秋、越中国守として任地にあった大伴家持のもとに、平城の都から弟の書持の急死の知らせがもたらされました。その驚きと深い悲しみをつづった挽歌が萬葉集巻十七にとどめられており(3957～3959)、兄家持が弟書持に寄せるこまやかな情愛をつぶさに読み取ることができます。弟に寄せる兄の思いは、それにとどまらず、萬葉集のそこ・ここに埋め込まれているのに、最近、気づきました。家持の人生のひとこまを、ご一緒にたどることにしたいと思います。

【講師】大阪市立大学
名誉教授 村田 正博

【時間】13:00～14:30

【受講料】会員1,650円、一般2,200円

12/3
(土)

茶室の多様性と和風建築 ー抹茶の茶室と煎茶の茶室ー

茶室というと千利休が大成した草庵の茶室をまず思い浮かべますが、茶会のための専用の空間と定義される茶室は広さや構造、意匠が限定されるものではなく、多様で多彩です。特に煎茶会が催された場には文人といわれる人たちが理想とした独特の自然観が反映されており、抹茶の茶室とは異なる性格をもっていました。茶室が持つこのような多用途性が近代になって独特の和風建築を生み出す原動力になっていました。煎茶の茶室に注目することで、和風建築の特徴をとらえてみましょう。

【講師】大阪電気通信大学
教授 矢ヶ崎 善太郎

【時間】13:00～14:30

【受講料】会員1,650円、一般2,200円

1/7
(土)

中国禅の本流としての東福寺

鎌倉時代に東福寺を開いた聖一国師は、中国に渡り中国五山第一徑山興聖万寿禅寺の仏鑑禅師のもとで6年余りの研鑽の末その法を嗣ぎ、また、国師の弟子達も次々と中国に渡り、臨済禅の本流をわが国に伝えました。2023年春に東京国立博物館、秋には京都国立博物館において特別展「東福寺」が開催されるのに先立ち、本講座では大陸との交流を通して花開いた禅宗文化の全容を幅広く紹介し、東福寺の日本文化における意義とその魅力をお話します。

【講師】京都産業大学
教授 石川 登志雄

【時間】13:00～14:30

【受講料】会員1,650円、一般2,200円

※各講座とも、当日の教室での受付は講座開始の30分前からです。

※価格は、消費税・設備費を含んだ税込価格を表示しています。

近畿文化会会員様の
お申込みは会員価格にて承ります。

お申込み・お問合せは

近鉄文化サロン
阿倍野まで

(06)6625-1771

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋2-1-40 and4階
[受付時間]10:00～19:00
(日曜日10:00～17:00)

※休業日 9/30(金)、10/29(土)～10/31(月)、11/29(火)、
11/30(水)、12/29(木)～1/5(木)は、受付業務を休ませて
いただきます

ホームページへのアクセスはこちら

近鉄文化サロン

検索

【受講のお申込みは】

- 事前にご予約のうえ、実施日の5日前までにご入金手続きをお済ませください。
- 近鉄百貨店外商部お得意さま、KIPSクレジットカード会員さま、近鉄友の会会員さま、満65歳以上の方は会員価格でご受講いただけます。 ※受付にて会員手続きが必要です。
- 各講座とも満員になり次第締め切らせていただきます。 ※ただし、一定の人数に満たない場合は、講座を中止させていただくこともございます。
- お支払いには、コンビニ振込みをご利用いただけます。(振込手数料別途) 詳しくは、お申込み時にご確認ください。

